



第6次高松市行財政改革計画 平成25～26年度実績報告書

平成27年8月
高松市

I 総論

- 1 第6次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標効果額と実績効果額
 - (1) 局進行管理体制で取り組む目標効果額と実績効果額
 - (2) 健全財政の目標値と実績値
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目

第6次高松市行財政改革計画（平成25年4月策定）

《計画期間》平成25～27年度（3年間）

短期的な効果額を
出す取組

中・長期的な歳入
増・歳出削減の取組

4つの行政経営視点

民間活力導入・協働
の推進によるサー
ビスの担い手の多様化

社会構造の変化に
対応する市民サー
ビスの向上

市民等多様な主
体との協働で創出
する新しい公共の
推進

行政運営の基盤と
なる健全財政の
維持

4つの重点的取組

効果的な行政体制
の構築と人材育成

市政の見える化や
市民との認識の
共有、コンプライ
アンスの徹底

《計画を推進する3つの方策》

業務の総点検

局進行管理制

プロジェクト進行管理制

将来にわたって持続可能な行政経営

計画期間中に取り組む目標効果額 **35億円**

(1) 局進行管理制で取り組む目標効果額と実績効果額

(千円)

目標効果額	25年度	26年度	27年度	累計額
歳入	208,241	299,061	292,870	800,172
歳出	787,189	904,593	1,092,910	2,784,692
効果額 (単年度)	995,430	1,203,654	1,385,780	3,584,864
効果額 (累積)	995,430	2,199,084	3,584,864	

(千円)

実績効果額	25年度	26年度	27年度	累計額
歳入	84,275	75,101	—	159,376
歳出	1,226,531	956,214	—	2,182,745
効果額 (単年度)	1,310,806	1,031,315	—	2,342,121
効果額 (累積)	1,310,806	2,342,121	2,342,121	

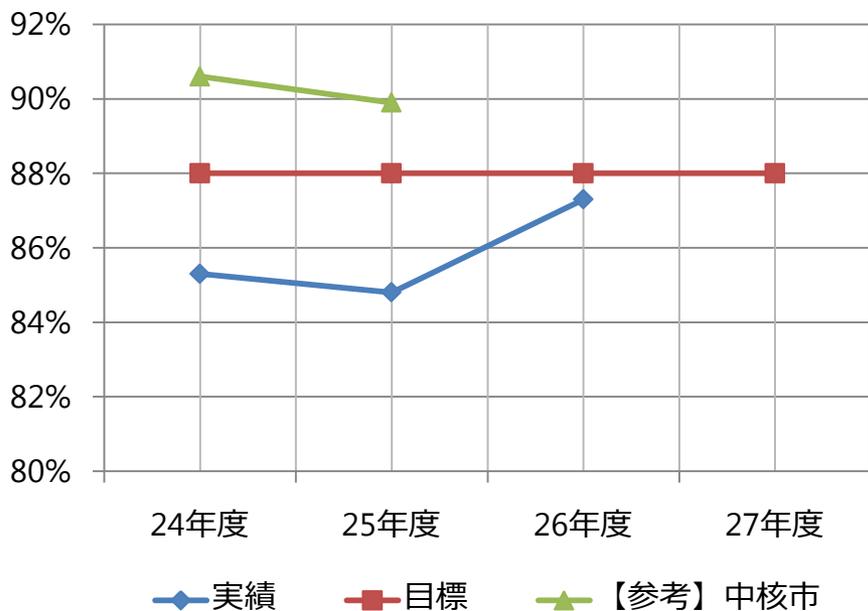
取組項目	実施項目数	目標効果額 (千円)	実績効果額 (千円)	達成度
1 市民等多様な主体との協働で創出する新しい公共の推進				
(1) 市民協働の推進 ① 業務の協働化 ② 外部委託等民間活力の導入	9	—	—	—
2 行政経営の基盤となる健全財政の維持				
(1) 事務事業の改革 ① 業務の改善等 ② 施設の効率的運営・利用率向上 ③ 業務の電子化 ④ 契約等の見直し ⑤ 補助金等の見直し ⑥ 公共事業の見直し ⑦ 受益者負担の適正化 ⑧ 収入増対策	65	359,027	346,689	96.6
(2) 定員・給与の改革 ① 定員・給与の適正化	3	1,320,145	1,780,934	134.9
(3) 資産・債務の改革 ① 債務改善計画 ② 未利用資産の売却・活用 ③ 債権回収の推進 ④ 施設の見直し・適正化	13	11,780	53,054	450.4
(4) 外郭団体等の改革 ① 外郭団体の効率的運営	3	—	2,909	—
(5) 特別会計の改革 ① 特別会計の効率的運営	2	53,962	67,319	124.8

取組項目ごとの内訳（平成25～26年度効果額・その2）

取組項目	実施項目数	目標効果額 (千円)	実績効果額 (千円)	達成度
(6) 企業会計の改革 ① 企業会計の効率的運営	1	424,968	0	0
(7) 中・長期的な歳入増・歳出削減の取組 ① 税源涵養の取組 ② ファシリティマネジメントの取組 ③ 多核連携型コンパクト・エコシティの取組 ④ 社会保障費等の抑制の取組	14	29,138	90,635	311.1
3 効率的な行政体制の構築と人材育成				
(1) 市民サービスの向上 ① サービスの提供体制の充実と質の向上	5	—	—	—
(2) 組織の改革 ① 組織機構の見直し	1	—	—	—
(3) 職員の意識改革と人材育成 ① 職員の意識改革 ② 人材育成・能力開発	5	64	581	907.8
4 市政の見える化や市民との認識の共有、コンプライアンスの徹底				
(1) 市政の見える化や市民との認識の共有 ① 市政の見える化や市民との認識の共有	4	—	—	—
(2) コンプライアンスの徹底 ① 職員の倫理意識の向上 ② 監査機能の充実	2	—	—	—
計	127	2,199,084	2,342,121	106.5

① 経常収支比率 (低い方が望ましい指標)

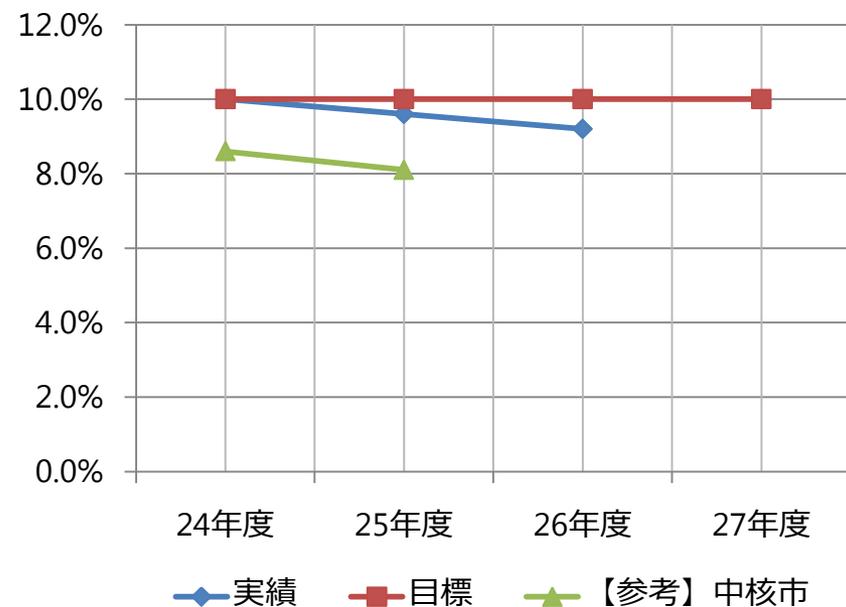
財政指標 (目標値)	平成25年度決算値		実績値 (26年度 決算見込)
	高松市	中核市	
88.0%	84.8%	89.9%	87.3%



経費の節減等により、目標を上回っている。

② 実質公債費比率 (低い方が望ましい指標)

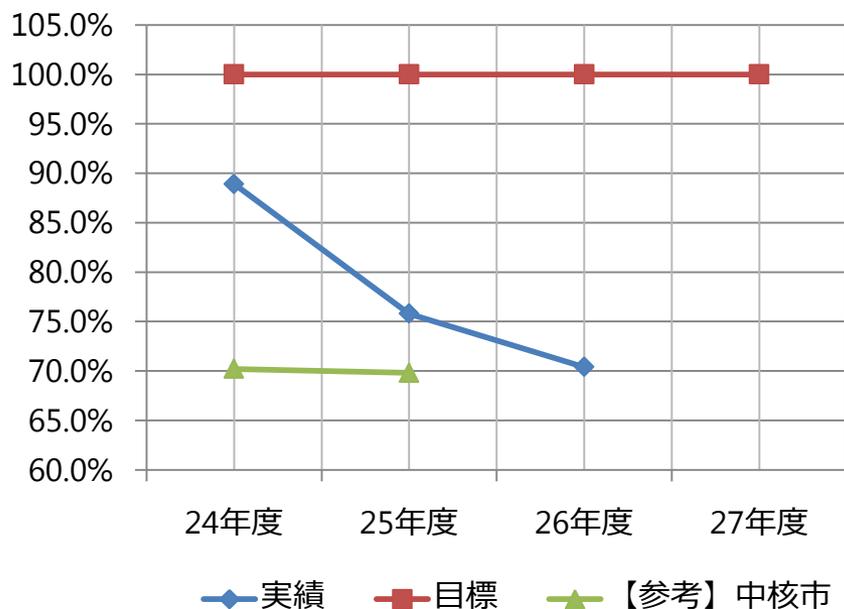
財政指標 (目標値)	平成25年度決算値		実績値 (26年度 決算見込)
	高松市	中核市	
10.0%	9.6%	8.1%	9.2%



交付税措置のある有利な市債の借り入れなどにより、目標を上回っている。

③ 将来負担比率 (低い方が望ましい指標)

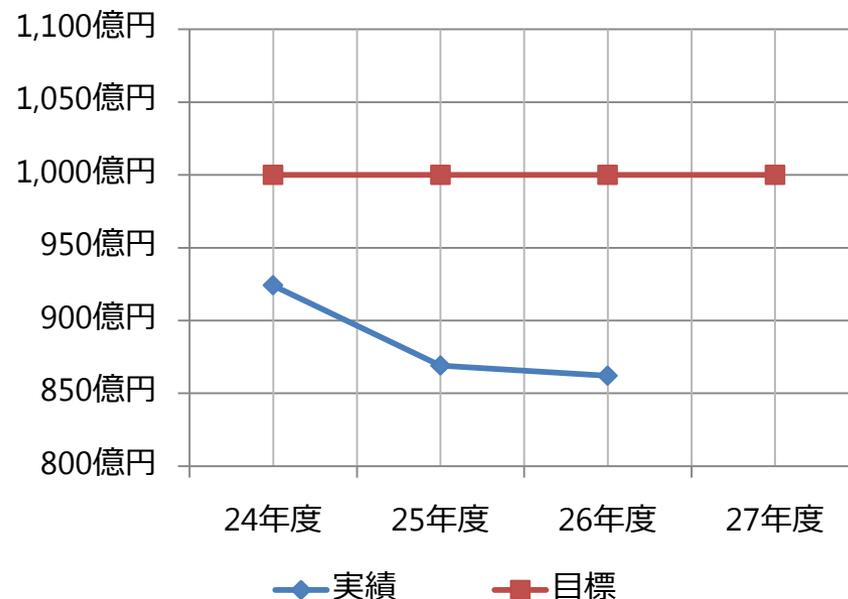
財政指標 (目標値)	平成25年度決算値		実績値 (26年度 決算見込)
	高松市	中核市	
100%	75.8%	69.8%	70.4%



基金残高の増加などにより、将来負担額が減少したため目標を上回っている。

④ 市債残高 (低い方が望ましい指標)

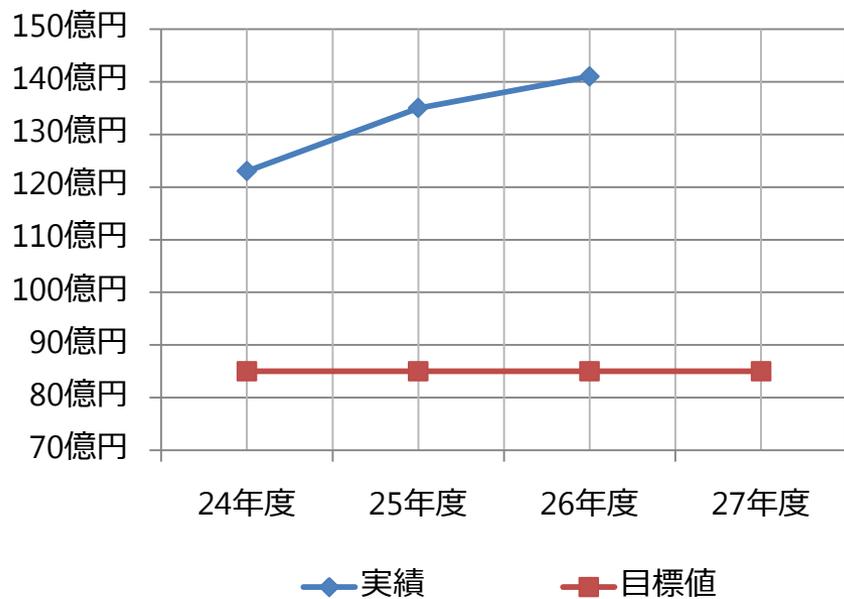
財政指標 (目標値)	平成25年度末 現在残高	実績値 (26年度 決算見込)
1,000億円	869億円	862億円



事業を精査し、計画的な市債の発行を行った結果、目標を上回っている。

⑤ 財政調整基金残高 (高い方が望ましい指標)

財政指標 (目標値)	平成25年度末 現在残高	実績値 (26年度 決算見込)
85億円	135億円	141億円



経費の節減等により、目標を上回っている。

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目 (その1)

No.	分類番号 実施項目			実施内容 (概要)	個別目標	区分	効果額目標 実施工程			局
1	4	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 より市民に見てもらえるような番組づくりを行うとともに、放送時間帯を見直し、視聴機会の拡大に努める。また、ケーブルテレビ加入率の向上について、事業主体である(株)ケーブルメディア四国に働きかけていく。	(株)ケーブルメディア四国に、加入率の向上について働きかけるとともに、平成26年度からの放送時間帯の見直しを協議し、実施する。	4	—			総務局
	ケーブルテレビ広報事業						25	26	27	
							協議	推進	推進	
2	2	3	2	【平成25年度公開事業評価対象事業】 未利用財産については、規模、形状、位置関係や未利用財産に至った経緯等、多種多様である。このうち、開発団地の法面や不整形地など利用が困難な土地の維持管理については、草刈や樹木伐採などの地元要望が年々増加傾向にあり、財産管理上の課題となっているため、他市の事例も研究する中で、適切な財産管理に努める。	ファシリティマネジメントの取組の中で、より効果的・効率的な手法を検討する。	4	—			財政局
	公有財産管理事務						25	26	27	
							調査検討	調査検討	調査検討	
3	2	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 各地区衛生組合協議会へのアンケート調査や他都市の状況調査を実施するとともに、これらの調査結果を踏まえ、駆除箇所の見直しなどを行い、事業規模を縮小する。	駆除箇所の見直しにより、事業費の縮減に努める。	1	▲11,000千円			健康福祉局
	害虫駆除事業						25	26	27	
							検討 ▲480	実施 ▲5,260	実施 ▲5,260	

【区分】 1：効果額の設定 2：年度末に効果額を算出 3：効果額以外の数値目標の設定 4：数値以外の目標設定

3-(1) 計画に追加した実施項目（その2）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程			局
	2	1	1				25	26	27	
4	2	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 がん検診受診者を増やすためには、市民が受診しやすい環境づくりや、効果的ながん予防の普及啓発を継続する必要がある。今後、公開事業評価における意見も踏まえ、企業・事業所など職域との連携を強化し、働き盛り世代の受診率向上対策や、広告媒体を活用した啓発などに取り組む。また、福祉総合システム導入に伴う帳票作成の外部委託により、受診券等に係る経費の抑制に努めるとともに、より効果的な検診案内となるよう改善に努める。	がん検診受診率 向上 (目標29%)	3	—			健康福祉局
							25	26	27	
							改善継続 検討 実施	改善継続 実施	改善継続 実施	
5	2	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 リサイクル率の向上のための新たな取り組みとして、H25年10月から、市内15か所に回収ボックスを設置し有用金属を回収する小型家電リサイクルモデル事業を実施したが、H26年度からは、小型家電リサイクル事業として、回収箇所を増やし実施する予定である。また、評価者の意見や先進地域の事例等を踏まえ、H26年度から、雑がみの回収促進を図る新たな事業や、ごみ分別等の優良な地域の表彰事業を実施する予定である。これら小型家電等リサイクル推進3事業を、ごみ再資源化事業を支え、改善継続するための3本の矢として、H26年度以後、継続実施することにより、リサイクル率の向上を図る。	リサイクル率の 向上 H24年度実績値 20.4% H25年度計画値 21.0% H26年度計画値 21.9% H27年度計画値 22.8%	3	—			環境局
							25	26	27	
							リサイク ル率計画 値21.0%	リサイク ル率計画 値21.9%	リサイク ル率計画 値22.8%	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その3）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
	2	1	5				26	27	
6	2	1	5	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 高松市社会福祉協議会における運営体制の効率的な見直し及び財務体質の強化による経営改善努力の状況等を踏まえ、補助金の削減を実施してきたところであるが、今後も、公開事業評価における意見を踏まえ、さらに法人運営事業（人件費）の補助基準を見直し、段階的に補助金を削減していく。</p>	<p>人件費の補助割合を段階的に削減していく。</p> <p>支所正規職員の人件費補助割合削減 100% → 80%</p>	1	H27 : ▲6,500		健康福祉局
							協議	支所正規職員の人件費補助割合削減 100→80%	
7	2	1	1	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 対象となる介護者がもれなく見舞金を受給できるよう、周知啓発に努める。</p>	<p>介護保険課が要介護認定結果を通知する際に、介護見舞金について、分かりやすく記載したチラシを同封する。また、介護支援専門員や民生委員などの関係者に周知啓発を行い、介護者に直接、事業を知らせていく。</p>	4	—		健康福祉局
							協議 検討	推進	



3-(1) 計画に追加した実施項目等 (その4)

No.	分類番号 実施項目			実施内容 (概要)	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
	2	1	5				26	27	
8	2	1	5	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 公開事業評価の判定結果を踏まえ、事業費を縮小すべく各事業内容を精査したが、当事業は農業者等の生産技術の習得、生産拡大及び品質の向上等の効果を上げている事業であり、大幅な縮小は困難であるため、事業成果及び農業振興の低下につながらないよう、現在の事業を基本的に維持しつつ、可能な範囲で予算の縮小を検討していく。</p>	<p>① 事業費の縮小 ② 香川町川東校区ふるさと物産まつり地域農産物消費拡大事業については、27年度限りで廃止する。</p>	1	① ▲90千円		創造都市推進局
							26	27	
							①②検討・協議	①▲90千円 ②協議	
9	2	1	1	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 放置自転車対策事業については、公開事業評価の判定結果が「改善継続」であったことから、快適で安全なまちづくりを目指すため、今後とも、周知・啓発の強化など、見直しを行いながら、より一層の放置自転車対策を推進する。</p>	<p>放置自転車が減少するよう、周知・啓発に努める</p>	4	—		都市整備局
							26	27	
							周知啓発	周知啓発	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その5）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
10	2	1	2	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 現在実施している講座のうち、子どもの居場所づくりのための講座を拡充して、新たに学習の要素を取り入れた「まなびの場づくり事業」として、コミュニティセンターに実施を委託する。 生涯学習センターやコミュニティセンターで実施している講座のうち、人気がある講座や講師について、コミセン職員の定期研修会で紹介するとともに、受講生が少なかったり、固定化している講座を見直し、講座内容の新陳代謝を図る。 同内容で3年以上連続して実施している講座は、同好会へ移行するよう促す。 コミュニティセンターの自由度を高めるため、必須ジャンルやジャンル毎の義務付け回数を見直す。</p>	<p>まなびの場づくり事業 H27年度計画 20コミュニティセンター</p>	3	—		教育局
							26	27	
							計画策定 予算要求	20コミュニティセンター で実施	
11	2	7	4	<p>《平成23年度包括外部監査結果・指摘事項》 包括外部監査の指摘や、障害者自立支援法の施行などに対応し、様々な障がい者施策を充実するため、障害者福祉金を廃止し、その財源をより効果的で必要性の高い事業に活用することにより、障害者施策を推進する。</p>	<p>障害者福祉金を廃止し、より効果的で必要性の高い事業を実施</p>	4	—		健康福祉局
							26	27	
							廃止	—	

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	中止の理由	局
	1	1	2			
1	E S C O事業の導入			<p>地球温暖化防止に向けた、行政の率先行動として、市有施設の省エネルギー化を実施するため、民間の技術能力や資金を活用し、省エネルギー改修に関わる全ての経費（建設費、金利、E S C O事業者の経費）を、光熱水費の削減分で賄うE S C O事業を検討する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、高松市ファシリティマネジメントの推進（財産経営課）と連携し、実施する。</p>	<p>【平成25年度をもって中止】</p> <p>市有施設の省エネルギー化を図るため、E S C O事業導入可能性調査を行った。</p> <p>調査の結果、E S C O事業の導入は困難との結論となったが、調査内容を参考に一部施設において照明をL E Dに交換するなど、各施設の省エネ改修の参考とした。</p>	環境局

Ⅱ 各論

1 局進行管理

(1) 取組状況（局別）

(2) 目標達成度（局別）

(3) 効果額（局別）

2 局進行管理体制

3 プロジェクト管理体制

4 （参考）公開事業評価による事務事業の見直し

1 局目標

(1) 取組状況 (局別)

局名	実施項目数	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	H25-26 取組項目数
市民政策局	9	5	4				9
総務局	20	7	13				20
財政局	19	12	7				19
健康福祉局	16	12	4				16
環境局	9	6	2		1		8
創造都市推進局	20	10	10				20
都市整備局	9	5	4				9
消防局	5	3	2				5
病院局	4		4				4
上下水道局	7	2	5				7
教育局	9	4	5				9
監査委員事務局	1	1					1
合計	128	67	60		1		127

1-(2) 目標達成度（局別）

局名	H25-26 取組 項目数	5 達成	4 おおむね 達成	3 ある程度 達成	2 やや下回っ ている	1 かなり下 回っている	0 全く出来な かった
市民政策局	9	3	3	1	2		
総務局	20	8	5	5	2		
財政局	19	3	11	2	2	1	
健康福祉局	16	11	3		2		
環境局	8	5	3				
創造都市推進局	20	10	2	1	3	3	1
都市整備局	9	4	1	2	2		
消防局	5	4	1				
病院局	4		1	2		1	
上下水道局	7	3	1		2	1	
教育局	9	6	1			2	
監査委員事務局	1	1					
合計	127	58	32	13	15	8	1

5 達成：100%以上 4 おおむね達成：100%未満～85%以上 3 ある程度達成：85%未満～70%以上
 2 やや下回っている：70%未満～60%以上 1 かなり下回っている：60%未満 0 全く出来なかった：0%

(千円)

局 名	平成25-26年度の目標効果額			平成25-26年度の実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	3,376	0	3,376	15,612	0	15,612	462.4
総務局	1,322,435	0	1,322,435	1,782,774	0	1,782,774	134.8
財政局	50,000	50,000	0	87,580	87,580	0	175.2
健康福祉局	51,638	0	51,638	86,345	0	86,345	167.2
環境局	137,660	3,880	133,780	135,522	26,166	109,356	98.4
創造都市推進局	65,217	3,879	61,338	77,217	0	77,217	118.4
都市整備局	16,200	16,000	200	7,113	6,797	316	43.9
消防局	16,940	1,010	15,930	23,856	7,926	15,930	140.8
病院局	424,968	424,968	0	2,341	0	2,341	0.6
上下水道局	110,011	7,475	102,536	123,264	30,818	92,446	112.0
教育局	639	90	549	497	89	408	77.8
監査委員事務局	—	—	—	—	—	—	—
合 計	2,199,084	507,302	1,691,782	2,342,121	159,376	2,182,745	106.5

➤ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	9件	効果額		目標達成度	
【取組状況】		目標効果額	3,376千円	※達成	3件
実施済	5件	実績効果額		※おおむね達成	3件
着手済	4件	歳入	— 千円	ある程度達成	1件
未着手	件	歳出	15,612千円	やや下回っている	2件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	件	計	15,612千円	全く出来なかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	462.4%	【達成率】 ※の割合	66.7%

➤ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	5	各地区の利用促進協議会で、コミュニティバス、乗合タクシーの運行計画やルート等の改善について協議を行ったほか、平成26年10月から、コミュニティバス等にI r u C aシステムを導入したことにより、電車・バスの乗り継ぎ割引や高齢者運賃半額制度（ゴールドI r u C a）の適用が可能となり、利便性が向上した。その結果、コミュニティバス等全体の収支改善が図られ、補助金の削減につながった。	【26年度実績】 ▲7,501千円
「コミュニティバス等維持費補助金」の見直し				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none">● 地域まちづくり交付金について、平成25年度には、コミュニティプランに基づく事業が実施できるよう交付対象事業を再編し、26年度からは、交付算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費の一元化を実施しました。● 高松市婦人団体連絡協議会の運営事業補助金及び高松市男女共同参画市民フェスティバル補助金について、計画どおり補助金の減額を実施しました。● 26年10月から、コミュニティバス等にI r u C aシステムを導入したことにより、電車・バスの乗り継ぎ割引や高齢者運賃半額制度（ゴールドI r u C a）の適用が可能となり、利便性が向上した結果、コミュニティバス等全体の収支改善が図られ、補助金の削減につながりました。
課題	<ul style="list-style-type: none">● 限られた財源である地域まちづくり交付金を、地域で更に有効に活用し、地域が活性化するような方策が必要であります。● 自治会が解散となったり、新興住宅等で自治会が結成されていなかったりする地域への防犯灯L E D化推進事業の対応について、検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 地域まちづくり交付金の適正な執行が図られるよう、地域コミュニティ協議会の組織体制強化を支援します。● C O 2及び維持管理経費を削減するため、平成28年度末までに全ての防犯灯のL E D化を目指します。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	20件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	1,322,435千円	※達成 8件
実施済	7件	実績効果額		※おおむね達成 5件
着手済	13件	歳入	— 千円	ある程度達成 5件
未着手	件	歳出	1,782,774千円	やや下回っている 2件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	1,782,774千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	134.8%	【達成率】※の割合 65%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
4	2	1		
コンプライアンスの徹底			職員の倫理意識の向上を図るとともに、不祥事が発生しない職場環境づくりを推進し、コンプライアンスを徹底する。	【26年度実績】 職員研修 11回 ・コンプライアンス推進施策の策定 ・コンプライアンス推進日の設定 ・公務員倫理特別研修の開催 等

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成25年度に事業仕分けを見直し、新たに市民参加型事務事業評価として「公開事業評価」を実施しました。26年度には、より効果的な制度となるよう、選定事業の条件の見直しなどを行いました。 ● 業務の簡素・効率化及び情報システム経費の削減・抑制を図るため、保険系システム及び福祉保健系システムを再構築し、平成26年4月に稼働させました。 ● 平成25年度に、本市ホームページに動画配信サイト「高松ムービー（動画）チャンネル」を開設し、市長定例記者会見を始め、イベントや観光情報などの市政情報の配信を開始し、26年度には、ライブ配信番組を視聴できなかった市民等に対応するため、アーカイブ番組において、フルムービーとダイジェスト版の両方を配信するチャンネルを新設しました。 ● 平成26年度に策定した「コンプライアンス推進施策」に基づき、コンプライアンス推進日の設定、公務員倫理特別研修の開催など各種施策を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 証明書のコンビニ交付については、マイナンバーカードの交付状況に合わせた実施が適切であることから、システム構築等の見直しが必要となりました。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 証明書のコンビニ交付については、今後、システム構築や運用方法などについて検討を行い、マイナンバーカードの交付状況を踏まえ、サービスが提供できるよう進めていきます。 ● 地域行政組織再編の検討については、関係課との協議・検討を継続しつつ、平成28年度からの移行に向けて準備を進めます。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	19件	効果額		目標達成度	
【取組状況】		目標効果額	50,000千円	※達成	3件
実施済	12件	実績効果額		※おおむね達成	11件
着手済	7件	歳入	87,580千円	ある程度達成	2件
未着手	件	歳出	— 千円	やや下回っている	2件
中止	件			かなり下回っている	1件
未到来	件	計	87,580千円	全く出来なかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	175.2%	【達成率】※の割合	73.7%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 1 1 中長期的財政運営方針の検討（地方交付税の合併算定替廃止および消費税率引上げに伴う対応）	「合併算定替終了に伴う財政対策連絡協議会」の加入を継続し、新たな財政支援措置について、引き続き国に対し要望を行った。また、今後実施する事業の財源を確保するため、平成27年3月補正において、「施設整備基金」を15億円、及び「福祉の充実と教育力向上のための臨時基金積立金」を5億円、計20億円を積み増した。	—

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2 1 8 職員の自家用車駐車場の有料化	職員団体と自家用車駐車場の有料化及び減免案について、大枠の了解を得られているが、合意には至っていない。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 未利用地のうち、中野町の倉庫跡地などニーズのあった物件3件、太田第二土地区画整理事業区域内の旧保留地を3件を売却した。また、元法定外公共物（元農道・水路跡地）についても順調に売却しました。 ● 大規模施設整備や老朽化市有施設の改修・修繕などに備え、将来を見据えた財源を確保するため、「施設整備基金」を15億円、また、消費税率の引き上げが延期されたことから、社会保障経費の安定的な財源を確保するため、「福祉の充実と教育力向上のための臨時基金」を5億円積み増しました。 ● 市債借入に際しては、交付税措置のない一般単独事業債の発行を抑え、一般財源2,390万円に対応するなど、市債残高の抑制に努めました。 ● ネーミングライツ事業については、引き続き導入可能性の検討を行うとともに、平成26年度から庁舎案内板のモニターに広告を掲載し、広告収入を確保しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度当初予算では、まちづくり戦略計画に登載されている大型建設事業の積極的な推進などに伴う市債借入額の増加などにより、プライマリーバランスが、2年連続の赤字となったため、黒字化を目指すとともに、市債残高の抑制を図る必要があります。 ● 出先施設における職員の自家用車駐車の有料化については、職員組合からは合意できない旨の回答を得ていますが、合意できるような対応策を検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 市債借入に際しては、事業の緊急性や必要性を検討し、国の補助制度の活用による財源を確保するとともに、交付税措置のない市債については、できるだけ借り入れないように努め、市債残高の抑制に取り組めます。 ● 出先施設における職員の自家用車駐車の有料化については、関係課とも連携しながら、引き続き職員組合に強く理解を求めるなど、適切な対応策を講じながら、合意に至るよう努めます。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	16件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	51,638千円	※達成 11件
実施済	12件	実績効果額		※おおむね達成 3件
着手済	4件	歳入	— 千円	ある程度達成 1件
未着手	件	歳出	86,345千円	やや下回っている 2件
中止	件			かなり下回っている 1件
未到来	件	計	86,345千円	全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	167.2%	【達成率】※の割合 87.5%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	1		
敬老事業の見直し			敬老祝金の77歳時の支給廃止などにより生ずる財源を、高齢者居場所づくり事業等の新規事業の財源に充てるなど、敬老事業の一体的な見直しに取り組みました。	【26年度実績】 敬老事業の一体的な見直し

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 敬老事業については、関係団体からの幅広い意見聴取の結果なども踏まえ、敬老祝金の77歳時の支給廃止などにより生ずる財源を、高齢者居場所づくり事業等の新規事業の財源に充てるなど、敬老事業の一体的な見直しに取り組みました。 ● 高松市地域行政組織再編計画に合わせて、地域における総合的な保健・福祉の相談窓口機能の充実等を図るため、地域包括支援センターと保健センターの出先機関を統廃合し、段階的に総合センター(仮称)へ移転する旨の「高松市地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合整備方針」を策定しました。 ● 介護保険事業の健全な運営のため、居宅介護支援事業所の重点検査を行い、ケアプラン点検も併せて実施し、介護保険給付費の抑制に努めました。 ● レセプト点検を充実・強化し、ジェネリック医薬品の使用推進や生活習慣病の重症化予防等について周知・啓発等に努め、国民健康保険の医療費の適正化を推進しました。 ● 「高松市子ども・子育て支援推進計画」を策定したほか、市立幼稚園・保育所において幼稚園教諭と保育士の身分統一を行い、従来の高松型こども園5園について、幼保連携型認定こども園へ移行しました。 ● 包括外部監査の指摘や、障害者自立支援法の施行などに対応し、様々な障がい者施策を充実するため、障害者福祉金を廃止し、その財源をより効果的で必要性の高い事業に活用することにより、障がい者施策を推進しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険、介護保険給付費の適正化 ● 地域包括支援センター、保健センターの出先機関統廃合、跡施設の有効活用等 ● 民間事業者による認定こども園への移行及び市立幼稚園・保育所の幼保連携型認定こども園への移行推進
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険・介護保険給付費の適正化に向け、引き続きレセプト点検の充実・強化や生活習慣病の重症化予防等を図るとともに、関係課により組織したプロジェクトチームにより、市民への周知・啓発活動等を積極的に行うなど、さらに取組みを進めていきます。 ● 地域包括支援センターと保健センターの出先機関を統廃合し、段階的に総合センター(仮称)へ移転した後の人員体制や業務内容等の見直しに取り組むとともに、跡施設の有効活用や運営管理方法の在り方を検討していきます。 ● 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、民間事業者の認定こども園への移行の支援等を行うほか、市立の幼稚園・保育所については、順次、幼保連携型認定こども園への移行を目指していきます。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	9件	効果額	目標達成度 （中止を除く）
【取組状況】		目標効果額	※達成
実施済	6件	137,660千円	5件
着手済	2件	実績効果額	※おおむね達成
未着手	1件	歳入	3件
中止	1件	26,166千円	ある程度達成
未到来	1件	歳出	やや下回っている
		109,356千円	かなり下回っている
		計	全く出来なかった
		135,522千円	
【実施・着手率】	88.9%	【達成率】	【達成率】 ※の割合
		98.4%	100%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	4	「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が平成24年7月1日より施行され、余剰電力売払単価が増額になることから、契約の見直しを行い売却料の増収を図る。	【25年度実績】 13,765千円 【26年度実績】 11,632千円
余剰電力売払に係る契約の見直し				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 余剰電力売り払いに係る契約の見直しについて、南部クリーンセンターにおいて国の再生可能エネルギー発電設備の認定を受け、平成25年3月分から固定価格買い取り制度に移行しました。以降、ごみ質分析結果によるバイオマス比率に基づき、余剰電力の売却を行っております。ごみ質分析調査に経費が必要となる一方で、バイオマス発電部分の売り払い単価の大幅な向上により、旧契約と比べ、大きな効果を挙げる事ができました。 ● 合併町の一般廃棄物処理施設の廃止について、25年度中に廃止予定であった香川一般廃棄物処理場は、廃止基準に適合したため、平成26年11月12日で廃止し、水処理施設を停止することができました。 ● ごみ収集体制の見直しについては、平成26年度に4 t 収集車を2台減車し、減車に伴い職員6名を減員することができました。 ● 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進について、平成24年7月から開始された再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用して、市内3箇所（H25:2箇所、H26:1箇所）の市有地を太陽光発電事業者に有償で貸し出し、当初の計画を上回る効果を上げることができました。 ● 汚水処理施設共同整備事業については、衛生処理センター中継所内に前処理施設を整備するための実施設計業務を平成25年度に行い26年度に建設工事に着手することができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併町の一般廃棄物処理施設の廃止について、平成25年度に埋立を終了している庵治最終処分場は、27年度中の廃止に向け、法に定められた検査を行う必要があります。 ● 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進については、固定価格買取制度による太陽光発電の買取価格が下落していることから、事業の実施が難しくなりつつあります。 ● 汚水処理施設共同整備事業については、平成29年度からの本格稼働に向け、27年度に前処理施設を整備し、28年度に東部下水処理場と連携しながら試験運転を行う必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併町の一般廃棄物処理施設の廃止について、庵治最終処分場においては、引き続き、廃止に向けて、水質・ガス検査等を定期的に行う予定です。 ● 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進については、事業化が可能な規模の用地を適切に選定するなど、引き続き事業に取り組む予定です ● 汚水処理施設共同整備事業については、29年度から、下水とし尿等の共同処理が本格稼働する予定です。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	20件	効果額	目標達成度
【取組状況】		目標効果額	※達成
実施済	10件	実績効果額	※おおむね達成
着手済	10件	歳入	ある程度達成
未着手	件	歳出	やや下回っている
中止	件		かなり下回っている
未到来	件	計	全く出来なかった
【実施・着手率】	100%	【達成率】	【達成率】※の割合

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 5 1	定年・中途退職者の補充を行わないとともに、適正な事業運営を行うため自動車券発売機導入等の省力化に取り組んだ。また、労使交渉を重ね、開催レースのグレードに応じた任用数の見直しを行い、経費の削減に努めた。	【26年度実績】 ▲24,086千円
競輪事業の効率的運営		

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2 1 5	現在のところ、イベントの効果を維持しつつ事業費の削減を図るための有効な手段を見出せておらず、また、景気の低迷等から、主催者が広告料等を確保することが困難な状況にあることから、具体的な補助金の引下げには至っていない。
観光イベントに対する補助金の見直し	

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	5	国分寺町、香南町の文化祭実行委員会に対し、補助を行っているが、文化祭内容や地元住民の意見から平成25年度と同額の補助金交付となった。今後、引き続き、市内他地区文化祭支援方法と同様の支援方法と統一するよう調整する。
合併町地区文化祭事業補助金の見直し			
2	1	5	補助金廃止（減額）に向けて当該協会に理解を得るため交渉しているが、成果が得られていないため、引き続き、当該協会の財務状況を見る中で廃止（減額）に向けて協議を行なっていく。
サンドヒルかほく市高松グラウンド・ゴルフ大会補助金の見直し			
2	1	7	他市状況等の調査に基づき分析を進めた。 今後は、受益者負担制度の導入に向けて、開放運営委員会と協議していく。
小学校体育施設の開放事業に係る受益者負担制度の導入			

実績概要

成果

- 高松市畜産共進会について、家畜伝染病予防の観点から審査方式を集合から巡回に変更することなどにより、負担金を削減することができました。
- 競輪事業について、自動車券発売機導入等の省力化や、開催レースのグレードに応じた任用数の見直しを行うことなどにより、経費を削減することができました。
- 中央卸売市場内で発生する廃棄物の縮減及び再資源化の促進について周知・啓発を行ったことにより、経費の削減につなげることができました。
- 観光施設の適正な維持管理のため、奥の湯温泉の耐震診断を実施しました。
- 音の祭り事業負担金及び文化団体活動補助金の見直しを行った結果、経費を縮減することができました。

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none">● 庵治町及び牟礼町の地籍調査について、今後、人件費を含む総事業費を見直す中で、引き続き、調査体制と機構の見直しを検討する必要があります。● 観光イベントに対する補助金について、イベントの効果を維持しつつ事業費の削減を図るための有効な手段を検討する必要があります。● 収蔵品情報管理システムについて、未登録の収蔵資料を順次登録し、多くの情報を発信できるように取り組む必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 平成25～26年度の取組については、概ね目標どおり達成できましたが、一部の取組において、更なる見直しを図り、効率的運営に努める必要があります。また、協議・調整を進める必要がある取組については、関係団体等との協議を継続的に実施するとともに、引き続き進行管理を徹底し、市民サービスの向上と経費の縮減に努めます。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	9件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	16,200千円	※達成 4件
実施済	5件	実績効果額		※おおむね達成 1件
着手済	4件	歳入	6,797千円	ある程度達成 2件
未着手	件	歳出	316千円	やや下回っている 2件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	7,113千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	43.9%	【達成率】※の割合 55.6%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	1		【26年度実績】
フラワーフェスティバルの見直し			フラワーフェスティバルの見直しにおいて、イベントの充実を図るとともに、経費の削減目標を達成いたしました。また、ガーデニング教室の参加者は、目標を大きく上回る184人となりました。	①花の装飾に係る経費の削減 ▲200千円 ②学校花壇のコンクール参加校 58校 ③緑化相談件数 91件 ④ガーデニング教室参加者 184人 ⑤来場者 43,000人

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	2	市営駐車場の効率的運営及び利用促進において、各駐車場の適切な維持管理に努めながら利用を促進し、管理コストの縮減に取り組む効率的な運営を図るため、「高松市立駐車場中期経営計画」を策定しました。	【26年度実績】 ①実施 ②高松市立駐車場中期経営計画の策定
市営駐車場の効率的運営および利用促進				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● フラワーフェスティバルの見直しにおいて、イベントの充実を図るとともに、経費の削減目標を達成しました。また、ガーデニング教室の参加者は、目標を大きく上回る184人となりました。 ● 市営駐車場の効率的運営及び利用促進において、各駐車場の適切な維持管理に努めながら利用を促進し、管理コストの縮減に取り組む効率的な運営を図るため、「高松市立駐車場中期経営計画」を策定しました。 ● 丸亀町再開発事業の推進において、再開発事業準備組合設立に向け、オブザーバーとして指導・助言を行っておりましたが、平成26年度に再開発事業準備組合が設立されました。 ● 放置自転車等対策事業において、新たな啓発ポスター・ビラの作成・配布や、放置自転車の多い土曜日等に撤去・移送を行うなど周知啓発方法等を見直しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路愛護団体による道路愛護の推進、管理漁港・管理港湾の効率的運営及び利用促進など、目標達成度の低い項目があることから、今後の目標達成に向け、効果的な対策を検討します。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、取組項目の目標達成に努めるとともに、道路愛護団体の認定について、自治会・企業への呼びかけやホームページでの積極的な周知を行い、事業の推進を図ります。また、管理漁港・管理港湾の効率的運営及び利用促進については、地元関係者及び関係機関との協議・調整により利用促進に取り組み、地域の活性化努めます。

➤ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	5件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	16,940千円	※達成 4件
実施済	3件	実績効果額		※おおむね達成 1件
着手済	2件	歳入	7,926千円	ある程度達成 件
未着手	件	歳出	15,930千円	やや下回っている 件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	23,856千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	140.8%	【達成率】 ※の割合 100%

➤ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
1	1	1	大規模災害時には、小規模な自主防災組織では活動に限りがあることから、より広い地域を包括する自主防災組織の結成を促進し、併せて地域特性や結成世帯数に応じた防災資機材を助成することにより、平成26年度までに活動カバー率100%を達成する。	【26年度実績】 ・ 包括的組織の結成数 27組織 ・ 活動カバー率 100% ・ 実践的訓練 18校区実施
自主防災組織の結成促進				

実績概要

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校区等を単位とした実践的な防災訓練を45校区において実施した結果、58の地域において包括的な自主防災組織が結成され、活動カバー率100%を達成することができました。 ● 新たに47か所の「まちかど救急ステーション」を認定し、91か所としたほか、応急手当の資格講習を延べ315回実施しました。 ● 廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防車両延べ12台を売却し、増収を図りました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災組織の結成促進については、目標を達成できましたが、大規模災害時において実効性のある活動組織となるよう、今後は、自主防災組織の育成を図る必要があります。
今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ協議会等が実施する訓練の支援を行うなど、自主防災組織の育成に努めます。 ● 「まちかど救急ステーション」認定事業所の増加に努めます。 ● 廃棄予定の消防車両を売却し、増収を図ります。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	4件	効果額	目標達成度
【取組状況】		目標効果額	※達成
実施済	件	424,968千円	件
着手済	4件	実績効果額	※おおむね達成
未着手	件	歳入	ある程度達成
中止	件	歳出	やや下回っている
未到来	件	計	かなり下回っている
			全く出来なかった
【実施・着手率】	100%	【達成率】	【達成率】 ※の割合
		0.6%	25%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	4	高松市民病院の施設管理業務については、入札参加業者を増やすとともに、仕様の見直しなどに取組み、経費節減を図りました。	【26年度実績】 ▲1,611千円
高松市民病院施設管理委託方法の見直し				
2	3	4	新病院整備事業については、整備地内の造成工事や調整池整備工事に着手したほか、実施設計の再積算等業務や出土した埋蔵文化財の整理等を行いました。	【26年度実績】 新病院整備地内の造成工事、調整池整備工事等の実施
市立病院の統合・再編				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	6	1	塩江分院及び香川診療所では、平成25年度に引き続き黒字となったものの、診療報酬の実質マイナス改定や、全国的な患者数の減少傾向に加え、周辺医療機関の新築・改築の影響により、市民病院の入院患者数が減少し、医業収益が伸びず、目標をかなり下回った。
高松市病院事業経営健全化計画への取組			

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事業務の委託については、指名競争入札を導入したほか、病診連携を進めるための受付業務を拡大しました。また、病院の経営管理に寄与する専門職として、診療情報管理士を2名採用しました。 ● 高松市民病院の施設管理業務については、参入業者の増加を図るとともに、仕様の見直しなどに取組み、経費節減を図りました。 ● 新病院の整備については、整備地内の造成工事や調整池整備工事に着手したほか、実施設計の再積算等業務や出土した埋蔵文化財の整理等を行いました。附属医療施設の整備については、整備場所の取得に向け、土地所有者と交渉しました。また、新病院・附属医療施設の医療機能については、国の医療施策の方向性や本市高齢者保健福祉計画との整合性等を踏まえ、検討しました。 ● 経営の健全化については目標をかなり下回ったものの、良質な医療の提供と経営の健全化については、①「医療の質の確保」に向けた取組では、医療職の専門性を踏まえ、医療職給料表を導入したほか、市民病院では、「病院医療機能評価」の認定を受けるとともに、「ICU施設基準」の取得や、「地域医療支援病院」の承認を得るなど、リーディングホスピタルとして機能の充実を図りました。また、塩江分院では、「在宅療養支援病院」として、患者の在宅療養を支援したほか、「地域医療のつどいin塩江2014」を開催し、医師の育成に努めました。香川診療所では、地域包括ケアを見据えた健康教室や出張講座を実施し、住民参加型医療に取り組みました。②「医療の透明性の確保」に向けた取組みでは、「地域医療支援病院」の承認に伴い、外部有識者等による地域医療連携推進委員会からの意見を踏まえ、より一層、地域医療機関との連携の推進・充実に努めました。③「医療の効率性」に向けた取組みでは、予算計上した医療機器等の早期活用のほか、診療情報管理士を増員し、データを活用した効率的な医療に努めました。
----	--

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 高松市民病院の施設管理業務については、患者サービスが低下しないことを前提に、経費節減を図るため、業務の組合せや仕様を更に見直す必要があります。また、新病院の開院予定時期を踏まえ、長期継続契約を検討する必要があります。 ● 新病院の整備については、平成30年度前半の開院に向け、計画的な整備に取り組む必要があります。附属医療施設の整備については、整備用地を取得する必要があります。また、両施設の医療機能については、国の医療施策の方向性や本市高齢者保健福祉計画との整合性等を踏まえ、対応する必要があります。 ● 良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」として、入院患者の増加を図る必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療情報や医事業務については、業務量の変化に対応した柔軟な人員配置を行うとともに、診療情報管理士を中心にDPCコーディング(疾病等のコード化)の精度を高め、医療データの分析を推進し、適切な医療を提供します。 ● 包括委託や長期継続の契約に関しては、新病院の移転時期を踏まえながら、業務の質の確保と経費節減に努めます。 ● 新病院の整備については、平成30年度前半の開院を目指し、計画的な整備に、全力で取り組みます。附属医療施設の整備については、整備場所を取得し、設計業務に着手できるよう、全力で取り組みます。また、新病院、附属医療施設の医療機能については、国の医療施策の方向性や本市高齢者保健福祉計画との整合性等を踏まえて対応します。 ● 良質な医療の提供と経営の健全化については、病院運営の指針となる27年度から29年度までの次期経営健全化計画に基づき、救急医療、地域医療連携機能の強化を図るとともに、地域医療構想を踏まえた「効率的で質の高い医療提供体制」の構築や「地域包括ケアシステム」の後方支援機能の強化などに取り組み、良質な医療と経営健全化に努めます。

➤ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	7件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	110,011千円	※達成 3件
実施済	2件	実績効果額		※おおむね達成 1件
着手済	5件	歳入	30,818千円	ある程度達成 1件
未着手	1件	歳出	92,446千円	やや下回っている 2件
中止	1件			かなり下回っている 1件
未到来	1件	計	123,264千円	全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	112.0%	【達成率】※の割合 57.1%

➤ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	8	未接続世帯への戸別訪問やチラシ等による周知・啓発活動に取り組んだ結果、接続率を平成24年度末の90.2%から90.9%に上昇させることができ、それによって21,079千円の収入増を達成できた。 今後も戸別訪問等による接続率の向上に取り組む更なる収入増を図っていく。	【26年度実績】 21,079千円 接続率 90.9%
公共下水道接続率の向上				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	2	平成26年度においては、1施設で供給廃止したことにより、61施設となった。大規模建築物（延べ床面積2,000平方メートル以上）を建築する事業者に対し、節水・循環型水利用計画書の提出を義務付けており、再生水供給区域内における再生水利用の促進を図っていく。
再生水利用水道事業における既存施設の有効活用			

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共下水道の接続については、平成26年度から普及促進係を新設するなど、未接続世帯への戸別訪問や周知・啓発活動に重点的に取り組んだ結果、接続率を24年度末の90.2%から90.9%に上昇させることができ、約30,237千円の収入増を達成できました。 ● 県営水道からの受水量の削減により、受水費が減少しました。 ● 講師資格を取得した職員による配水管工技能講習会を実施することにより、受託費の増収を図るとともに、職員や施工業者の技術力の向上に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設資材費や労務費等の高騰による事業費の増加により、危機管理センター建設事業負担金等、大きな資金需要が見込まれ、財政状況を逼迫していることから、目標を下回っている項目について、より重点的に取り組むことにより、健全な事業運営を行う必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 上下水道事業基本計画に基づき、今後も、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指して、下水道未接続世帯の解消や県水依存率の低減などにより、効率的で健全な事業運営を目指します。また、昨今の社会情勢に応じた、上下水道事業基本計画の見直しを行います。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	9件	効果額		目標達成度	
【取組状況】		目標効果額	639千円	※達成	6件
実施済	4件	実績効果額		※おおむね達成	1件
着手済	5件	歳入	89千円	ある程度達成	件
未着手	件	歳出	408千円	やや下回っている	件
中止	件			かなり下回っている	2件
未到来	件	計	497千円	全く出来なかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	77.8%	【達成率】※の割合	77.8%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	2	各種講座の開催数は前年度と同数であるが、講座内容の充実により受講者数が増加した。 今後とも、市民との協働による講座内容の一層の充実により、講座数の確保と受講者数の増加を図る。	【26年度実績】 講座の受講者数 11,049人 うち市民等との協働講座受講者数 3,273人
生涯学習センターの効率的運営および利用率等の向上				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	8	職員団体と自家用車駐車の有料化及び減免案について、大卒の了解を得られてはいるが、合意には至っていない。 今後は、市長部局等とも足並みを揃えながら、学校施設における教職員の自家用車の有料化について、学校関係団体と十分な協議・検討を行う。
学校施設における教職員の自家用車駐車の有料化の検討			
2	3	4	整備については、土地所有者と建設用地の売却について合意にまで至らなかったため、平成27年度も引き続き交渉し、合意が得られしだい直ちに基本設計等に着手し、運営についても継続して検討する。
学校給食調理場の整備および運営方法の検討			

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の効率的運営・利用率向上：生涯学習センター及び市民等との協働による講座受講者数の増 講座開催回数は25年度と同じであったが、受講者数は下記のとおり増加した。 H25年度：9,654人（うち市民等との協働：3,109人） H26年度：11,049人（うち市民等との協働：3,273人） ● 契約等の見直し：図書館用定期刊行物（雑誌等）の購入価格の見直し 中央図書館に配置する雑誌の全てを25年度に引き続き、5%割引で購入した。 ● 補助金等の見直し：生涯学習課における各種団体への補助金等の見直し 23年度以降、減額を段階的に進め、26年度にはすべて廃止した。 ● 受益者負担の適正化：生涯学習センター講座受講料の見直し 25年度から有料講座の一部の受講料を改定しているが、26年度は受講者数の増加により年間受講料収入額が、25年度と比較して116千円増収となった。
----	---

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none">● 施設の見直し・適正化：学校給食調理場の整備用地確保
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 施設の効率的運営・利用率向上 コミュニティセンター等講座事業については、既設の「子どもの居場所づくり」事業に、新たに学習的な要素を加えた「まなびの場づくり」事業を創設し、27年度において、20地域での実施を目指します。● 収入増対策 学校施設における教職員の自家用駐車の有料化については、市長部局等における進捗状況を踏まえながら、学校関係団体との必要な協議・検討を行います。● 施設の見直し・適正化 学校給食調理場の整備について、引き続き、建設予定用地の確保に努めます。

▶ 平成26年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	1件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	— 千円	※達成 1件
実施済	1件	実績効果額		※おおむね達成 件
着手済	件	歳入	— 千円	ある程度達成 件
未着手	件	歳出	— 千円	やや下回っている 件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	— 千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	— %	【達成率】※の割合 100%

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 12局121課（室）及び4団体を対象に、適法性、効率性及び妥当性の観点に留意し、定期監査、行政監査、財政援助団体等監査及び工事監査を実施し、行財政改革計画、まちづくり戦略計画等の進捗状況や事務の改善などについて事情聴取を行うとともに、80件の指摘事項及び意見を公表しました。 ● 定期監査結果報告書を始め各種監査結果の公表様式を見直し、平成25年11月以後の監査結果の公表には、一覧表を設けるとともに、個別の表も改め、分かりやすくしました。 ● 監査結果の指摘・意見の措置未通知の解消に取り組み、措置通知の提出期限を設定（6か月）するとともに、これまで年4回行っていた措置通知の公表を、平成26年7月から、毎月公表することとしました。 ● 監査事務局の名称を、執行機関である監査委員の補助組織であることを明確にするため、「監査事務局」から「監査委員事務局」に変更しました。（平成27年4月1日）

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none">● 初めて、年度の重点取組事項を登載し、通常の監査業務に加えて、全庁的な事務改善に向けた監査や市民目線に立つ行政監査の実施などを盛り込んだ平成27年度高松市監査実施計画を3月に策定しました。● 市町村アカデミー「監査事務」や国際文化アカデミー「自治体の内部統制と監査機能」等へ職員を派遣したほか、職場内研修として、包括外部監査人を講師とする特別研修や職員による研修報告会等を実施し、監査委員事務局職員の資質向上を図りました。
課題	<ul style="list-style-type: none">● 各局に共通して繰り返し散見される事務処理誤りについて、全庁的な改善を図る必要があります。● 本市の事務事業が適正に行われているか、法令違反の指摘にとどまらず、市民目線に立った行政監査の実施が求められています。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 監査対象となる事務に着目し、対象事務を所管する局に対してのみでなく、必要に応じて、事務の処理に関わった他の局や、事務処理手順等を所管する局に対しても併せて監査を実施します。● 本市の事務事業が適正に行われているか、法令違反の指摘にとどまらず、市民目線にたち、事務事業は市民のニーズに対応しているか、経済性、効率性及び有効性が確保された事務事業が執行されているか、市の発信する情報が、ホームページ等の各種媒体で、適正に提供されているかなどの観点から行政監査を実施します。

項番	1	分類番号	2	1	1	実施項目	空き家等対策
			業務改善等				
関係課			<p>政策課、地域政策課、環境指導課適正処理対策室、都市計画課、道路管理課、建築指導課、住宅課、予防課</p> <p style="text-align: right;">平成27年3月31日解散</p>				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市における空家等の問い合わせ、相談等の内容やそれに対する対応状況の調査 ● 対策実施に伴う課題の整理 ● 先進的な取組事例の調査研究 ● 空家等実態調査の実施 ● 「高松市における総合的な空き家等対策の取組方針（案）」の取りまとめ ● 暮らし安全安心課（総合窓口）の設置（平成27年4月1日）
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の現状を踏まえた効果的な対策の構築 ● 空き家対策特別法案制定の動き
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトチームは、取組方針（案）を取りまとめたことにより、その設置目的を達成した。このことから、プロジェクトチームは解散しており、今後の具体的な取組は、取組方針で示されている暮らし安全安心課（総合窓口）において、総合的かつ計画的な空家等対策を実施することとしている。
目標達成度 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	2	分類番号	2	1	2	実施項目	施設利用率向上対策対応
			施設の効率的運営・利用率向上				
関係課			観光交流課、文化芸術振興課、文化財課（歴史資料館）、スポーツ振興課、美術館美術課、都市計画課、生涯学習課（生涯学習センター）、中央図書館				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 関係課において、施設利用率等を確認し、現状を把握するとともに、2カ年について比較できる形のデータを作成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用率調査の実施にあたっては、図書館外施設における取置利用など、サービス向上の取組みが施設利用者数の増に比例しないようなケースも考えられることから、比較項目や評価方法などについて更に十分な検討が必要です。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 事務局において、関係課から集めた施設利用率に関するデータを、比較・検証できる形に整理し、現状を把握した上で更に検討を進めます。また、結果の良し悪しについては、要因の分析・共有を行います。
目標達成度 (6段階評価)	2 (やや下回っている)

項番	3	分類番号	2	3	3	実施項目	債権管理の適正化
			債権回収の推進				
関係課			納税課債権回収室、国保・高齢者医療課、介護保険課、こども家庭課、こども園運営課、市民病院事務局医事課、住宅課、出納室、お客様センター				

取組実績

成果	<ul style="list-style-type: none"> 貸付金の交付申請に当たっての留意事項などを始めとする管理・回収事務処理マニュアルについて、債権回収室で作成した案を示し、関係課の意見を聴取して、マニュアルを策定した。また、このマニュアルをデータ書庫に保管し、利用に供することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 各所管課において滞納処分や法的措置への移行による強制執行の実績がない又は少ない。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各所管課における滞納処分や法的措置による強制執行の実施に当たっての課題を把握し、今後の債権回収室の役割や組織目標の決定に役立てる。
目標達成度 (6段階評価)	5 (達成)

項番	4	分類番号	2	7	2	実施項目	ファシリティマネジメントの推進
			ファシリティマネジメントの取組				
関係課			財産経営課、公共・公用施設等の建築物を保有・維持している全課（ただし、国の指針に基づき、進められている土木・インフラ系施設部門等は除く）、政策課、地域政策課、まちづくり企画課、人事課行政改革推進室、財政課、契約管理課、健康福祉総務課、環境総務課、産業振興課、都市計画課、建築課、消防局総務課、教育局総務課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメントシステムの構築により、施設情報の共有化・一元化、施設分類別の診断・評価を行うとともに、計画的な保全による、ライフサイクルコストの最適化（財務的改善）に向けた取組が行えるようになった。更に、公共施設長寿命化指針や公共施設等総合管理計画の策定により、長寿命化についての考え方の統一や、庁内横断的にインフラを含めた公共施設再編に取り組むことができるようになった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 総量縮減の取組について、基本方針に定めた定量的目標達成のため、個別具体的な再編整備計画の策定が重要となるが、関連する多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画、立地適正化計画等との調整に時間を要する。また、再編整備計画に定める今後の方向性については、市民アンケートや施設利用者アンケート等を実施しながら、合意形成に配慮を行いながら進める。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設を適正化・再配置するための、再編整備計画の策定に着手する必要がある。また、施設の運営維持については、コスト縮減や環境負荷低減に関する具体的な方策を検討し、全庁一体となった取組の推進が必要である。
目標達成度 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	5	分類番号	2	7	3	実施項目	持続可能な交通体系の確立
			多核連携型コンパクト・エコシティの取組				
関係課			交通政策課、地域政策課、こども園運営課、高松市民病院塩江分院、学校教育課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● H26年度より、新規運行及び既運行地区で路線・ダイヤ等の見直しを希望する地域の支援策として、「コミュニティバス等導入検討支援補助制度」の運用開始。 ● 塩江地区における、3小学校統合に伴うスクールバスの運行決定、また、こども園バスとスクールバスを同一業者へ発注し、経費を削減することの方向性の決定（H27年度より契約及び運行開始）
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● H26年度よりコミュニティバス等導入検討支援補助制度が創設されたが、地域のコミュニティ等への周知不足もあり、昨年度は1団体の認定はあったものの、新規運行及び路線等の見直しまでには至らなかった。 ● こども園バスとスクールバス以外のバスについては統合等、事業の方向性の決定には至らなかった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、市民、事業者及び交通事業者が協働して持続可能な地域内公共交通ネットワークを再構築する必要があることから、啓発用DVDを作成し、市民等の意識の醸成・公共交通の利用を促進します。 ● こども園バスとスクールバスを含む、塩江地区の重複した交通施策の統合の可能性について調整・検討します。
目標達成度 (6段階評価)	2 (やや下回っている)

項番	6	分類番号	2	7	4	実施項目	保険給付費適正化
			社会保障費等の抑制の取組				
関係課			国保・高齢者医療課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、政策課、地域政策課、産業振興課				

取組実績

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正化計画に搭載している項目について、国民健康保険については、「糖尿病予防事業」に、介護保険については、「介護予防事業」に特化し、各項目では6事業を実施するとともに、地域への健康づくり・介護予防の推進、医療資源の有効活用に向けた推進、介護保険制度の適正な運営確保の推進のほか、その他の事業など、36事業を実施している。 ● 糖尿病予防事業のうち、「特定健康診査」、「特定保健指導の実施率」については、最終年度である27年度の目標値が、国の目標に準拠もしくは参考に、60%、50%と高い目標値となっているが、実績としては、25年度・26年度ともに着実に改善しており特定健康診査の25年度の実施率42.0%は、中核市の中では第4位、また、特定保健指導の実施率21.4%は第17位である。その他の事業は、「ある程度」以上、達成している。 ● 介護予防事業では、はつらつ介護予防教室の参加率について、26年度の実績は25年度と比較して改善している。その他の事業は、「ある程度」以上、達成している。 ● 地域への健康づくり推進では、健康チャレンジ事業の参加数や、高齢者の居場所数については、目標を達成している。 ● 保険給付費の適正化に関する周知会を開催し、82か所、延べ2,109人に説明を行い周知啓発に努めた。
-----	--

取組実績	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険給付費適正化計画に登載された各事業について、これまでの取り組みを評価し明らかになった課題を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 特定健康診査における未受診者のうち、通院経験がない者については、医療情報がなく、仮に糖尿病等に罹患していても、保健指導ができないことから、病状が進行することとなる。 ② 介護保険の要支援認定者サービス利用者の悪化率が低下（改善）していない。 ③ 高額な医療を要する人工透析は、これまで糖尿病に着目し、その予防事業に取り組んできたが、人工透析に至る原因には、高血圧症など糖尿病以外にもある。 ● 引き続き各種団体に周知啓発活動の依頼を行うとともに、周知会に参加していない市民へ周知啓発活動を検討する必要がある。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● ①の課題について、特にこれらの者に対する特定健康診査の受診勧奨を強化する。 ● ②の課題について、継続の認定者に比べ悪化率が特に高い新規の認定者に重点を置いた防止策を講じる。 ● ③の課題について、慢性腎臓病（CKD）についての予防対策も実施する。 ● 適正化計画に搭載された事業について、課題を解消するため検証、評価を行う。また、現計画が27年度で終了することから次期計画を策定する。 ● 関係各課と連携し、周知会未開催団体等に依頼し開催につなげる。また、健康長寿川柳の募集、ラッピングバスの運行、シンポジウムの開催を行う。
目標達成度 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	7	分類番号	3	1	1	実施項目	社会保障・税番号制度の推進
			サービスの提供体制の充実と質の向上				
関係課			人事課行政改革推進室 、情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、こども家庭課、こども園運営課、保健対策課、保健センター、住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトチーム会議の開催 3回 ● 担当者説明会 1回 <p>プロジェクトチーム会議を通じ、関係課への制度概要等の周知及び解釈の説明を実施し、共通認識を図りました。</p> <p>また、本市独自のマイナンバー制度の利用について全庁調査等、マイナンバー制度の円滑な導入及び今後の活用を検討するための現状把握に努めました。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバー制度の概要は明らかとなっているものの、番号法別表に係る主務省令が未公布である（法令の未整備）等、詳細な事項については、未確定の部分も多く、システム改修等を進めていく上での課題となっており、今後、短期間での対応を求められる可能性が大きくなります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も国の動向に注視し、法定で定められた事務の円滑な導入を行うために検討を継続するとともに、本市独自の事務及びマイナンバーカードの利活用に関し、個人番号を効率的かつ効果的に利用することを検討していきます。
目標達成度 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	8	分類番号	4	2	1	実施項目	コンプライアンスの徹底
			職員の倫理意識の向上				
関係課			全課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス推進チーム会議の開催 5回 「不祥事防止アンケート」を実施（回答率82.3%）。その分析結果や各局の不祥事再発防止策から「コンプライアンス推進に関する報告書」を市長に提出しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書を基に策定された「コンプライアンス推進施策」に盛り込まれた30からなる施策を計画的に実施していくこととしていますが、推進チームとして施策の推進にどう取り組んでいくか、検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コンプライアンス推進施策」は、平成27年度までに実施すべき施策を盛り込んだものであり、28年度以降の計画等を検討することが見込まれることから、推進チームとして引き続き、コンプライアンスの推進を図るために事務局と連携し、検討していきます。
目標達成度 (6段階評価)	5 (達成)

4 (参考) 公開事業評価による事業の見直し

(1) 平成25年度高松市公開事業評価実施に係る検討状況

(千円)

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H25年度 当初予算	H26年度 当初予算
1	ケーブルテレビ広報事業	総務局 広聴広報課	改善 継続	改善 継続	18,310	18,787 (447)
2	公有財産管理事務	財政局 財産管理室	改善 継続	改善 継続	61,277	47,338 (▲13,939)
3	乳幼児医療等医療費助成事業	健康福祉局 こども家庭課	改善 継続	拡充	1,226,713	1,112,667 (▲114,046)
4	害虫駆除事業	健康福祉局 生活衛生課	縮小	縮小	40,462	34,978 (▲5,484)
5	がん対策推進事業	健康福祉局 保健センター	改善 継続	改善 継続	460,954	376,142 (▲84,812)
6	ごみ再資源化事業	環境局 環境保全推進課	改善 継続	改善 継続	190,619	202,582 (11,963)
7	企業誘致・企業支援による地 域産業活性化促進事業	創造都市推進局 産業振興課	拡充	拡充	33,093	275,669 (242,576)
8	花いっぱい推進事業	都市整備局 公園緑地課	改善 継続	改善 継続	44,357	45,533 (1,176)
			合計		2,075,785	2,113,696 (37,911)

4 - (2) 平成26年度高松市公開事業評価実施に係る検討状況

(千円)

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H26年度 当初予算	H27年度 当初予算
1	ゆめづくり推進事業	市民政策局 地域政策課	改善 継続	改善 継続	24,485	21,211 (▲3,274)
2	社会福祉団体活動助成事業	健康福祉局 健康福祉総務課	改善 継続	改善 継続	127,530	121,103 (▲6,427)
3	在宅高齢者家族支援事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善 継続	改善 継続	58,752	46,656 (▲12,096)
4	農業団体育成事業	創造都市推進局 農林水産課	縮小	縮小	14,011	13,941 (▲70)
5	観光イベント振興事業	創造都市推進局 観光交流課	改善 継続	改善 継続	34,861	34,477 (▲384)
6	住宅建築物耐震改修等事業	都市整備局 建築指導課	継続	継続	164,535	331,830 (167,295)
7	放置自転車等対策事業	都市整備局 都市計画課	改善 継続	改善 継続	40,495	40,286 (▲209)
8	コミュニティセンター等講座 事業	教育局 生涯学習課	改善 継続	改善 継続	21,216	21,665 (449)
			合計		485,885	631,169 (145,284)

